

科目名	科目区分		授業方法
関係法規・制度	必修科目	関係法規・制度	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
2年	-	学科講師	33時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点）</li> </ul>		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人 日本理容美容教育センター「関係法規・制度」</li> <li>・美容師法関係法令集</li> <li>・プリント</li> </ul>		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法制制度の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活における法の役割</li> <li>・法の形式</li> <li>・衛生法規の概要</li> <li>・美容師法と附属法令</li> </ul> </li> <li>2. 衛生行政の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生行政の意義と歴史</li> <li>・生成行政の分類と生活衛生行政の内容</li> <li>・衛生行政を担う行政機関</li> </ul> </li> <li>3. 美容師法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的</li> <li>・用語の定義</li> <li>・人(美容師)に関する規定</li> <li>○まとめと試験、確認</li> <li>・施設(美容所)に関する規定</li> <li>・立入検査と環境衛生監視員</li> <li>・違反者等に対する行政処分</li> <li>・罰則</li> </ul> </li> <li>4. 関連法規 <ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめと試験、確認</li> <li>国家試験対策</li> </ul> </li> </ol>		

科目名	科目区分		授業方法
衛生管理	必修科目	衛生管理	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	-	学科教員	96時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点）</li> </ul>		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人 日本理容美容教育センター「衛生管理」</li> <li>・プリント</li> </ul>		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 公衆衛生 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生の概要</li> <li>・保健</li> </ul> </li> <li>2. 環境衛生 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生</li> </ul> </li> <li>○まとめと試験、確認</li> <li>3. 感染症 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の総論</li> <li>・感染症の各論</li> </ul> </li> <li>4. 衛生管理技術 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒法総論</li> </ul> </li> <li>○まとめと試験、確認</li> <li>・消毒法各論</li> <li>・消毒法実習</li> <li>5. 衛生管理の実践例</li> <li>○まとめと試験、確認</li> <li>国家試験対策</li> </ul>		

科目名	科目区分		授業方法
保健	必修科目	保健	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	-	学科教員	96時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験</li> <li>学科試験 合格（8割以上の得点）</li> </ul>		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人 日本理容美容教育センター「保健」</li> <li>・プリント</li> </ul>		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<p>1. 人体の構造及び機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部、顔部、頸部の体表解剖学</li> <li>・骨角器系</li> <li>・筋系</li> <li>・神経系</li> <li>・感覚器系</li> <li>・血液・循環器系</li> <li>・呼吸器系</li> <li>・消化器系</li> </ul> <p>○まとめと試験、確認</p> <p>2. 皮膚科学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の構造</li> <li>・皮膚付属器官の構造</li> <li>・皮膚の循環器系と神経系</li> <li>・皮膚と皮膚付属器官の生理機能</li> </ul> <p>○まとめと試験、確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚と皮膚付属器官の保険</li> <li>・皮膚と皮膚付属器官の疾患</li> </ul> <p>○まとめと試験、確認</p> <p>国家試験対策</p>		

科目名	科目区分		授業方法
香粧品化学	必修科目	香粧品化学	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	-	学科教員	66時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点）</li> </ul>		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人 日本理容美容教育センター「香粧品化学」</li> <li>・プリント</li> </ul>		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>香粧品概論                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・香粧品の社会的意義と品質特性</li> <li>・香粧品の規制</li> <li>・香粧品の安定性と取り扱い上の注意</li> <li>・香粧品と安全性</li> </ul> </li> <li>香粧品用原料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・香粧品の対象となる人体各部の性状</li> <li>・水性原料・油性原料</li> <li>・界面活性剤</li> <li>・高分子化合物</li> <li>・色材・香料・その他の配合成分</li> <li>・ネイル、まつ毛エクステンション用材料</li> </ul> </li> <li>○まとめと試験、確認</li> <li>基礎香粧品                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚洗浄用香粧品</li> <li>・化粧水</li> <li>・クリーム・乳液・その他の基礎香粧品</li> </ul> </li> <li>メイクアップ用香粧品                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・メイクアップ用香粧品の種類と剤形</li> <li>・ベースメイクアップ香粧品</li> <li>・ポイントメイクアップ香粧品</li> </ul> </li> <li>頭皮・毛髪用香粧品                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャンプー剤</li> <li>・スタイリング剤</li> <li>・パーマ剤</li> <li>・ヘアカラー製品</li> <li>・育毛剤</li> </ul> </li> <li>芳香製品と特殊香粧品                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・芳香製品・特殊香粧品</li> </ul> </li> <li>○まとめと試験、確認 国家試験対策</li> </ol>		

科目名	科目区分		授業方法
文化論	必修科目	文化論	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	-	学科教員	66時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点）</li> </ul>		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人 日本理容美容教育センター「文化論」</li> <li>・プリント</li> </ul>		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<p>1. 総論</p> <p>2. 日本の理容業・美容業の歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理容業・美容業の発生</li> <li>・江戸時代の理容業・美容業</li> <li>・近代の理容業・美容業</li> <li>・現代の理容業・美容業</li> </ul> <p>3. ファッション文化史 日本編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文・弥生・古墳時代</li> <li>・古代(飛鳥・奈良・平安時代)</li> <li>・中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)</li> <li>・近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)</li> <li>・近世Ⅱ(江戸時代)</li> <li>・近代(明治・大正・昭和20年まで)</li> <li>・現代Ⅰ(1945年～1950年代)・現代Ⅱ(1960年代～1970年代)</li> <li>・現代Ⅲ(1980年代～1990年代)・現代Ⅳ(2000年代以降)</li> </ul> <p>○まとめと試験、確認</p> <p>4. ファッション文化史 西洋編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代エジプト</li> <li>・古代ギリシャ・ローマ</li> <li>・古代ゲルマン</li> <li>・中世ヨーロッパ</li> <li>・近世Ⅰ(16世紀)・近世Ⅱ(17世紀)・近世Ⅲ(18世紀)</li> <li>・近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)・近代Ⅱ(19世紀)</li> <li>・現代Ⅰ(1910年代～1920年代)・現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半)</li> <li>・現代Ⅲ(1940年代後半～1950年代)</li> <li>・現代Ⅳ(1960年代)・現代Ⅴ(1970年代)・現代Ⅵ(1980年代)</li> <li>・現代Ⅶ(1990年代～2010年)</li> </ul> <p>5. 礼装の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和装の礼装・洋装の礼装</li> </ul> <p>○まとめと試験、確認 国家試験対策</p>		

科目名	科目区分		授業方法
美容技術理論	必修科目	美容技術理論	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	○	専任教員(美容師)	159時間
到達目標	・美容師国家試験 学科試験 合格(8割以上の得点)		
使用教材	・公益社団法人 日本理容美容教育センター「美容技術理論1・2」 ・プリント		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	美容技術理論を学ぶにあたって 1. 美容用具 2. シャンプーイング 3. ヘアデザイン ○まとめと試験、確認 4. ヘアカットイング 5. パーマネントウェービング ○まとめと試験、確認 6. ヘアセティング 7. ヘアカラーリング ○まとめと試験、確認 8. エステティック 9. ネイル技術 10. メイクアップ 11. 日本髪 12. 着付けの理論と技術 ○まとめと試験、確認 国家試験対策		

科目名	科目区分		授業方法
運営管理	必修科目	運営管理	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
2年	-	学科教員	33時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験 学科試験 合格（8割以上の得点）</li> </ul>		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人 日本理容美容教育センター「運営管理」</li> <li>・プリント</li> </ul>		
評価方法	筆記試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営者の視点                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営とは・経営者とは</li> <li>・理容業・美容業の経営について</li> <li>・資金の管理</li> </ul> </li> <li>2. 人という資源 従業員としての視点                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・人という資源</li> <li>・健康・安全な職場環境の実現</li> <li>・従業員としての視点から</li> </ul> </li> <li>3. 顧客のために                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス・デザイン</li> <li>・マーケティング</li> <li>・サービスにおける人の役割</li> </ul> </li> </ol> <p>○まとめと試験、確認 国家試験対策</p>		

科目名	科目区分		授業方法
美容実習	必修科目	美容実習	講義
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	○	専任教員(美容師)	948時間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験 実技試験 合格</li> </ul>		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人 日本理容美容教育センター「美容実習1・2」</li> <li>・プリント</li> </ul>		
評価方法	実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客マナー</li> <li>・シャンプー</li> <li>○確認チェック</li> <li>・ワインディング</li> <li>ウィッグの濡らし方</li> <li>ブロッキングのラバーのとめかた</li> <li>ブロッキングの取り方</li> <li>ロッド準備・スライスとシェープ</li> <li>巻き方(上巻き、オンベースと1/2オフベース、下巻き、センター、フロントの巻き方、バックサイド巻き方)</li> <li>○確認チェック</li> <li>・カッティング</li> <li>シザーワーク</li> <li>レイヤーカット(ブロッキング、アウトラインガイド設定、ブロック、フロントのガイド設定～もみあげをつなぐ、トップ～フロント～サイド&amp;チェックカット)</li> <li>○確認チェック</li> <li>・オールウェーブセッティング</li> <li>ローション塗布</li> <li>1段目(馬蹄形シェープ、スカルプチュアカール)</li> <li>2段目 ウェーブの作り方</li> <li>3段目 ウェーブ&amp;スカルプチュアカール</li> <li>4段目 ウェーブ&amp;右リフトカール</li> <li>5段目 ウェーブ&amp;左リフトカール</li> <li>○確認チェック</li> <li>・カラー</li> <li>・サロンワーク</li> <li>・国家試験対策</li> <li>大1課題、第2課題、シュミレーション</li> </ul>		



科目名	科目区分		授業方法
専門教養科目	選択必修科目	特別実習	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	○	美容師	321時間
到達目標	専門技術を兼ね備えた美容師になる		
使用教材	専門資料配付・メイクボックス・ネイル用具一式・着付け用具一式・美容技術理論1 2		
評価方法	実技試験、出席状況・検定作品作成・校内コンテスト出品		
授業計画	項目と内容		
	<p>○着付け</p> <p>1. 着物の種類及び各部の名称・帯の種類・道具の種類名前                  2. 着付けの作法・着物のたたみ方 3. 体型補正                  4. 肌襦袢・長襦袢の着付け 5. 小紋着付け 6. 帯結び二重太鼓                  6. 訪問着・留袖着付け 7. 振り袖着付け 8. 振り袖帯結び                  9. 着物のヘアスタイル 10. 浴衣着付け 11. 新種帯結び</p> <p>○メイク</p> <p>1. 道具の名称 2. スキンケア 3. ベースメイク                  4. アイメイクアップ 5. アイブロウメイクアップ                  6. ブラッシュオンメイクアップ 7. ブライダルメイク                  8. 自由作品作成審査</p> <p>○ネイル</p> <p>1. ネイルケア                  2. ファイリング・キューティクル処理・バッフィング                  3. カラーリング(ベースコート・エナメル・トップコート)                  4. アートネイル</p> <p>○アイラッシュ</p> <p>1. 道具・材料の名称 2. 衛生管理・カウンセリング                  3. テーピング 4. 基本技術 5. フェイスマスク・モデル実習</p> <p>○エステティック</p> <p>1. エステ機械の使用法 2. クレンジング 3. ハンドマッサージ                  4. フェイシャルエステ 5. フェイシャルパック</p>		

科目名	科目区分		授業方法
専門教養科目	選択必修科目	カウンセリング	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1・2年	○	美容師	108時間
到達目標	専門知識技術を兼ね備えた美容師になる		
使用教材	専門資料配付・美容技術理論2・美容モード理論		
評価方法	筆記又は実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接客の基本（姿勢・身だしなみ）</li> <li>2. 言葉遣い</li> <li>3. 観察力</li> <li>4. コミュニケーション</li> <li>5. 希望を聞く</li> <li>6. 提案力</li> <li>7. クレーム処理方法</li> <li>8. カウンセリングシートの作成</li> <li>9. 実践練習（受付からご案内まで）</li> </ol>		

科目名	科目区分		授業方法
専門教養科目	選択必修科目	美容モード理論	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1年	○	美容師	108時間
到達目標	専門知識技術を兼ね備えた美容師になる		
使用教材	専門資料配付・美容技術理論2・美容モード理論		
評価方法	筆記又は実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファッションの定義</li> <li>2. モードのプロセス</li> <li>3. ファッションのイメージ</li> <li>4. アートに対するサイエンス</li> <li>5. モードとファッションテーマ</li> <li>6. ビジネスとモード</li> <li>7. ブランド化の条件</li> <li>8. ファッションディレクション</li> </ol>		

科目名	科目区分		授業方法
一般教養科目	選択必修科目	色彩学・デッサン	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1年	○	専任教員	54時間
到達目標	専門技術を身につけた美容師になる		
使用教材	パーソナルカラーリスト検定テキスト・資料配付		
評価方法	筆記又は実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	<p>○色彩学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 色彩と文化 四季の色 色の歴史 色と生活 色の種類</li> <li>2. 色彩理論 色のしくみ CUS表色系 配色効果 色の感情効果</li> <li>3. 色彩とファッション ファッション概論 ブライダルと色彩</li> <li>4. パーソナルカラー 特徴 パーソナルシーズンカラー120</li> </ol> <p>○デッサン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. デッサンの基礎 遠近法 陰影 錯覚現象 デザインの原理</li> <li>2. デッサンの応用と実技</li> </ol>		

科目名	科目区分		授業方法
一般教養科目	選択必修科目	日本語	講義・実習
対象学年	実務経験	担当教員	授業時間
1年	○	専任教員	54時間
到達目標	専門技術を身につけた美容師になる		
使用教材	アクセント辞典・資料配付		
評価方法	筆記又は実技試験、出席状況		
授業計画	項目と内容		
	1. 日本語の基本 ・ 謙譲語・丁寧語・尊敬語 2. 発声練習基本 ・ 早口言葉 ・ 濁音 ・ 鼻濁音 3. アクセントの基礎 ・ 平板・頭アクセント・尾アクセント 4. 原稿作成の基本 ・ 原稿の読み方の基本・応用実技朗読		